

## ワークシート：あなたならどうする？

～これって「差別」？　これで「合理的配慮をした」ことになるの？？～

### ケース1 ☆意図しない差別？

小学校高学年のA太郎くんはダウン症で、知的障害がある。

ある日、A太郎くんは、隣町の駅で、一人で電車に乗ろうとした。駅員は、「一人で乗るのは危険だ。降りる駅がわからないのではないか？」と心配し、電車に乗せなかった。その結果、A太郎くんは自宅まで、一人で歩いて帰った。

→駅員は「安全のため」乗車をさせなかった。これは「差別」だろうか？

→もしあなたが、この駅員の立場だったらどうする？

### ケース2 ☆合理的な配慮？

会社員Bさんは聴覚障害がある。仕事で必要な時は、手話通訳を頼んできた。

ある時、会議に出席するために手話通訳を頼もうとしたら、上司から止められた。

「これは社内の機密事項を扱う会議だから、社外の人間を入れることはできない。手話通訳も入れられない。Bさんには筆談するから。ポイントを書いて渡してあげるから」と上司は言う。

→この上司（会社）がBさんにおこなったことは「差別」だろうか？

→「筆談」は、Bさんへの合理的配慮になるだろうか？

→会社がいう「機密事項を扱うから」は、“やむをえない理由”になりうるか？

### ケース3 ☆本人の要望は？

視覚障害者のCさん。駅の改札で、電車に乗るところまでの誘導を依頼した。

すると駅員が複数ついてきて、「天皇陛下がいくようなルート」で通され、大げさに「危険だから」といって遠回りをされて、ようやく電車まで案内された。

Cさんは、結果的に安全に乗車することはできた。が、「自分はそんなこと頼んでないし。普通に乗るつもりだった」と話している。

→駅員がおこなったことは「合理的配慮」といえるだろうか？

→駅で「障害のある乗客に対するマニュアル（手引書）」をつくるとしたら、大切なことは何？

<メモ：広島「菓子博」問題> ～どうしてこんなことに？～

### 無理解が背景、実情知って 菓子博の電動車いす入場制限（朝日新聞2014/2/16）

<http://www.asahi.com/articles/ASG2D7T25G2DPITB01X.html>（2014年2月27日確認）

昨春に広島市で開かれた「ひろしま菓子博2013」で持ち上がった電動車いす入場制限問題は、障害を持つ人たちにとってショックなできごとだった。抗議を受けて主催者は入場を認めたが、障害者や支援者には、その後の対応にも不満が残った。「障害者への無理解が背景にある」「実情が社会に伝わっていない」。広島市で今月あったシンポジウムで課題が話し合われた。

シンポジウムは「ひろしま菓子博2013から学んだこと」と題し、障害のある地方議員らでつくる「障害者の自立と政治参加をすすめるネットワーク」（事務局・名古屋市）が主催した。

広島県・市・業界団体などでつくる菓子博実行委員会は昨年4月19日に開幕した当初は、「安全確保のため」として電動車いすの入場を禁じ、手動車いすへの乗り換えを求めた。障害者団体などから「電動車いすは体の一部」と抗議され、同22日から原則、全日程で入場を認めた。緊急時の避難や事故防止のため、スタッフが付き添うことにした。